

NY マーケットレポート (2016 年 12 月 5 日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ISM 非製造業景況指数が市場予想を上回り、2015 年 10 月以来の高水準となったことや、米労働市場状況指数が、マイナス予想に反してプラスに改善したことを受けて、米景気が堅調に回復しているとの見方が広がり、ドル買いが優勢となった。また、ダウ平均株価が最高値を更新する動きとなったことも加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後米債券利回りが低下したことや、株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

2016年12月5日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.92	113.96	112.89
EUR/JPY	120.79	120.87	118.74
GBP/JPY	144.62	144.82	142.57
AUD/JPY	84.70	84.81	83.80
EUR/USD	1.0604	1.0664	1.0506

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.48	113.87
EUR/JPY	122.53	120.70
GBP/JPY	145.71	144.58
AUD/JPY	85.00	84.69
EUR/USD	1.0730	1.0595

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.80	114.78	113.17
EUR/JPY	122.45	123.20	122.04
GBP/JPY	144.83	146.05	144.07
AUD/JPY	84.98	85.54	84.85
NZD/JPY	81.23	81.52	80.87
EUR/USD	1.0762	1.0797	1.0684
AUD/USD	0.7468	0.7498	0.7432

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19216.24	+45.82
S&P500	2204.71	+12.76
NASDAQ	5308.89	+53.24
日経225 (CME)	18360	+40
トロント総合	15095.17	+42.65
ボルサ指数	44937.30	+382.04
ボエスパ指数	59831.73	-484.40

12/6 経済指標スケジュール

09:00 【日本】10月毎月勤労統計[現金給与総額]
 09:01 【英国】11月BRC小売売上高
 09:30 【オーストラリア】3Q経常収支
 12:30 【オーストラリア】政策金利発表
 16:00 【ドイツ】10月製造業受注
 16:30 【南アフリカ】3Q GDP
 17:15 【スイス】11月消費者物価指数
 19:00 【欧州】3Q GDP
 22:30 【米国】10月貿易収支
 22:30 【米国】3Q非農業部門労働生産性
 22:30 【カナダ】10月国際商品貿易
 23:00 【メキシコ】11月消費者信頼感指数
 00:00 【米国】12月IBD/TIPP景気楽観指数
 00:00 【カナダ】11月Ivey購買部協会指数
 00:00 【米国】10月製造業受注指数
 00:00 【米国】10月耐久財受注

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1176.50	-1.30
NY 原油	51.79	+0.11
CMEコーン	359.25	+12.00
CBOT 大豆	1043.50	+16.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.120%	1.104%
3年債	1.405%	1.386%
5年債	1.851%	1.831%
7年債	2.198%	2.186%
10年債	2.400%	2.390%
30年債	3.071%	3.067%

ドイツ10年債	0.333%	0.281%
英国 10年債	1.403%	1.380%

12/6 主要会議・講演・その他予定

・EU経済・財務相理事会

NY 市場レポート

22 : 35

＜ 要人発言 ＞

ダドリー・NY連銀総裁

- ・「金融政策は、時間とともに多少の引き締め望ましい」
- ・「次期財務長官とは緊密に協力することになるだろう」

23 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

9 月メキシコ総設備投資 0.7%（予想 0.7%・前回 1.3%）



出所：Bloomberg

23 : 25

＜ 要人発言 ＞

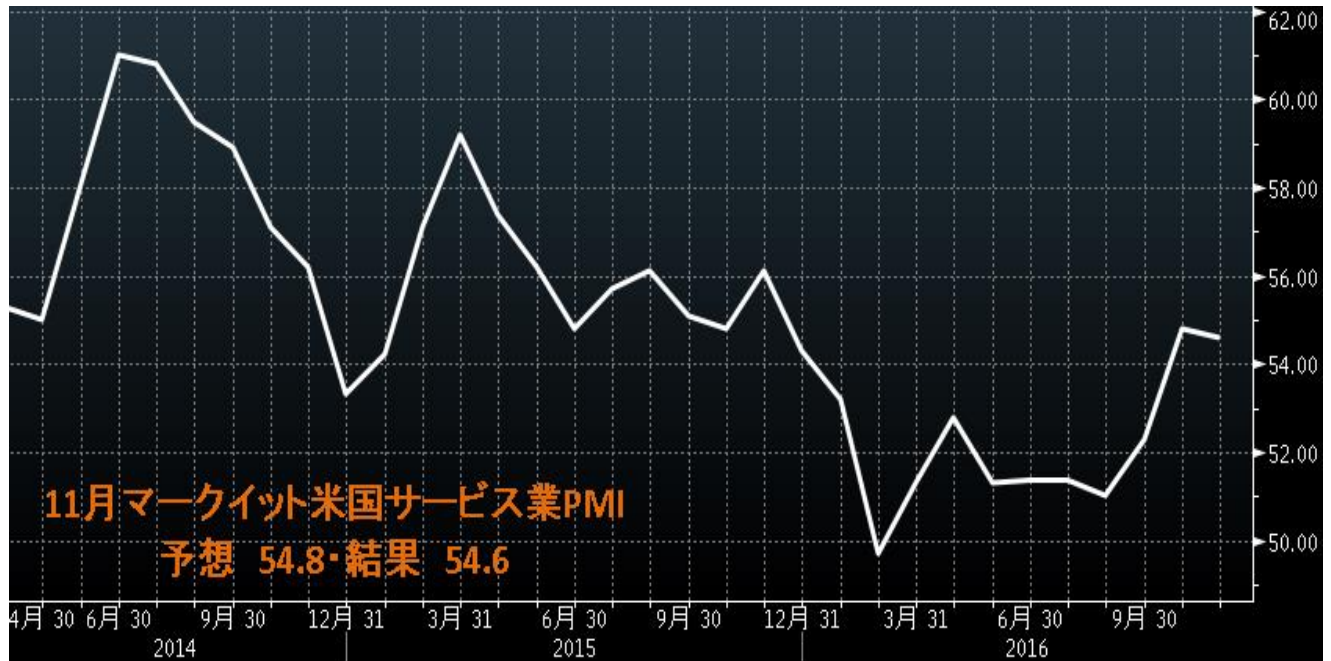
エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「2016 年下期の経済は、上期より強くなるもよう」
- ・「ドルの強さは製造業への向かい風となっている」
- ・「FOMC のインフレ目標は、達成に近づいている」
- ・「失業率 4.6% は完全雇用に近い」
- ・「ドルはかなり長い間、非常に強い状況が続いている」
- ・「トランプ次期政権の政策は経済を支援へ」
- ・「FOMC は株式市場の水準や金融の安定を考慮」

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

11月マークイット米国サービス業 PMI 54.6 (予想 54.8・前回 54.7)



出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米ISM非製造業景況指数 57.2 (予想 55.5・前回 54.8)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《ISM 非製造業景況指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
総合指数	57.2	54.8	57.1	51.4	55.5	56.5
景況指数	61.7	57.7	60.3	51.8	59.3	59.5
仕入価格	56.3	56.6	54.0	51.8	51.9	55.5
新規受注	57.0	57.7	60.0	51.4	60.3	59.9
雇用者数	58.2	53.1	57.2	50.7	51.4	52.7

11月の米ISM非製造業景況指数は、市場予想の55.4を上回る57.2となり、前月の54.8からも上昇し、2015年10月以来の高水準となった。景況指数は61.7（前月57.7）、雇用指数は58.2（53.1）と共に昨年10月以来の高い水準、ただ、新規受注指数は57.0（57.7）に低下した。

0:00

《経済指標の結果》

11月米労働市場情勢指数 1.5（予想 -0.2・前回 1.4）
 前回発表の0.7から1.4に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《労働市場情勢指数 (LMCI)》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
労働市場情勢指数	1.5	1.4	0.1	0.0	1.7	0.3

11月の米労働市場状況指数は、マイナス予想に反して1.5となり、雇用の改善・悪化の境目になるゼロを上回った。10月は0.7から1.4に、9月は-0.1から0.1に修正されるなど、6月分までそれぞれ上方修正された。

0:40

《要人発言》

ダドリー・NY連銀総裁

- ・「債券市場の調整は、恐らく遅過ぎた可能性もある」
- ・「賃金はもう少し上昇することが望ましい」
- ・「経済への下向きリスクは、恐らく縮小したもよう」

<< NY 債券市場 ・ 午前 >>

序盤のニューヨーク債券市場は、11月の米ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことで米景気が堅調に回復しているとの見方が広がり、安全資産とされる米国債の売りが先行した。また、米国の株価上昇も投資家のリスク志向を強め、米国債の売りを促した。

午前の利回りは、30年債が3.08%（前週末3.07%）、10年債が2.42%（2.39%）、7年債が2.21%（2.18%）、5年債が1.86%（1.83%）、3年債が1.42%（1.39%）、2年債が1.13%（1.11%）。

ECB 公的部門購入プログラム

12月2日・11月25日・11月18日・11月11日・11月4日

公的部門・・・12116.9・・・11971.8・・・11828.8・・・11650.9・・・11482.6

資産担保証券ABS・・・225.2・・・222.6・・・219.5・・・214.9・・・212.9

カバード債・・・2034.2・・・2022.0・・・2004.3・・・1995.2・・・1986.6

（億ユーロ）

<< 欧州株式市場 >>

欧州株式市場は、イタリアの国民投票で憲法改正が否決され、レンツィ首相が辞意を表明したが、欧州経済全体への影響は限定的と受け止められ、買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

4:10

<< 要人発言 >>

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「政府政策は、低金利体制に影響及ぼす可能性も」
- ・「規制緩和、インフラ、税制は生産性上げる可能性も」
- ・「政策金利は、引き続き異例の低水準を維持すると想定」
- ・「セントルイス連銀モデルでは、2019年まで1回の利上げを示唆」

<< NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 1.30 ドル安の 1 オンス=1174.00 ドルで取引を終了した。

NY 金は、欧米の株価上昇で投資家にリスク志向が戻り、比較的安全な資産とされる金売る動きが優勢となった。米経済指標が改善し、今月の米追加利上げが意識されたことも圧迫要因となった。

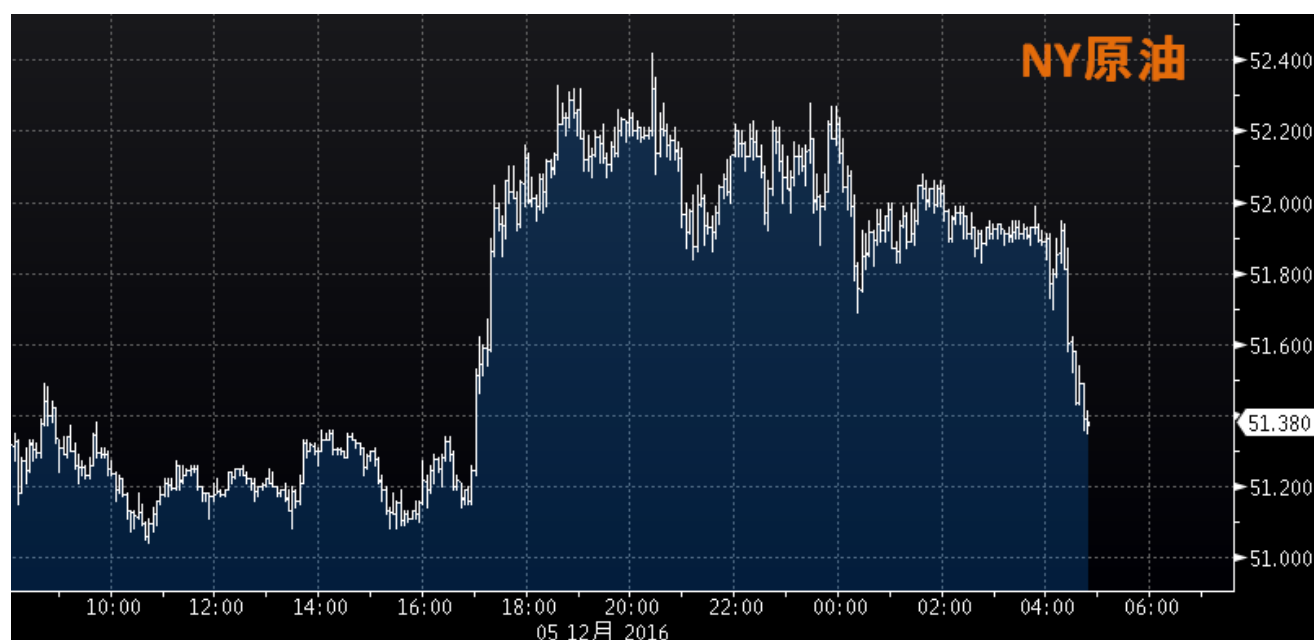


出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.11 ドル高の 1 バレル=51.79 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の原油減産合意で需給が引き締まるとの期待が引き続き材料視され、堅調な動きとなった。その後は協調減産を話し合う OPEC 加盟国と非加盟国の閣僚会合を今週末に控えて様子見ムードも強まり、引けにかけて上げ幅を縮小した。一時、1 バレル=52.42 ドルまで上昇し、昨年 7 月中旬以来約 1 年 5 カ月ぶりの高値水準となった。また、終値ベースでも約 1 年 5 カ月ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

6 : 10

《 要人発言 》

ブラード・セントルイス連銀総裁～記者団に

- ・「12 月利上げは極めて妥当な選択肢」
- ・「2017 年は 2% の GDP 伸び率を予想」
- ・「FRB は来年のインフレ目標達成に向け順調」
- ・「失業は現在の水準近辺にとどまると予想」

《米株式市場》

米株式市場は、イタリアのレンツィ首相が辞意を表明したものの、欧州主要株価が堅調に推移したことを受けて、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 104 ドル高まで上昇し、最高値を更新する動きとなった。ただ、その後は上げ幅を縮小する動きとなった。



出所 : Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標がいずれも市場予想を上回る結果となったことから、ドルは堅調な動きとなった。ただ、その後は、米債券利回りが低下したことから、ドル売り・円買いが優勢となり、また株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。